

# 授業科目 地域理学療法学

【担当教員名】 松本 香好美		対象学年	3	対象学科	理学
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	4	時間数	60
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解		思考・判断		態度	
◎		○		◎	
【概要・一般目標：G10】 地域理学療法を知り、介護保険制度やサービスについて学ぶ。 地域における理学療法士の役割について理解を深める。 理学療法士の役割の一つである住環境整備について理解する。 住環境整備の方法について習得する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域理学療法について概要を知り、説明できる。</li> <li>2. 介護保険制度やサービスについて理解し、説明ができる。</li> <li>3. 地域における関連職種との連携について学ぶ。</li> <li>4. 地域における理学療法士の役割について説明ができる。</li> <li>5. 事例を通じて問題点を抽出し、適切な介入内容とサービス提供案を提示できる。</li> <li>6. 住環境について学ぶ。</li> <li>7. 福祉用具について理解を深め、説明できる。</li> <li>8. 事例を通じて住環境整備を創造し、模擬的に実施することができる。</li> <li>9. 住環境整備のための方法を実施することができる。</li> <li>10. 排泄機能・動作について理解し、説明できる。</li> </ol>					
回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	地域理学療法の概要	1	講義		
2	介護保険制度、障害者自立支援法 1	2	講義		
3	介護保険制度、障害者自立支援法 2	2	講義		
4	地域における関連職種との連携	3、4	講義		
5	介護保険制度と地域理学療法 1	1-4	講義		
6	介護保険制度と地域理学療法 2	1-4	講義		
7	介護保険制度と地域理学療法 3	1-4	講義		
8	介護保険制度と地域理学療法 4	1-4	講義		
9	介護保険制度と地域理学療法 5	1-4	講義		
10	利用者を取り巻く環境（人的・物的） 1	2-4	講義		
11	利用者を取り巻く環境（人的・物的） 2	2-4	講義		
12	海外における地域理学療法 1	3、4	講義		
13	海外における地域理学療法 2	3、4	講義		
14	事例検討 1	1-5	講義		
15	事例検討 2、まとめ	1-5	講義		
16	住環境について 1	6	講義		
17	住環境について 2	6	講義		
18	福祉用具について 1	7	講義		
19	福祉用具について 2	7	講義		
20	事例検討 3	8	講義		
21	事例検討 4	8	講義		
22	事例検討 5	8	講義		
23	事例検討 6	8	講義		
24	事例演習 1	9	講義・演習		
25	事例演習 2	9	講義・演習		
26	事例演習 3	9	講義・演習		
27	事例演習 4	9	講義・演習		
28	排泄機能・動作について 1	10	講義		
29	排泄機能・動作について 2	10	講義		
30	まとめ		講義		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		地域リハビリテーション学テキスト 改訂第2版	細田多穂(監修)、備酒伸彦(編集)、樋口由美(編集) 他	南光堂	2012・4,200円+税・ 配布資料
参考書		標準理学療法学 地域理学療法学 改訂第3版	牧田光代(編集)、金谷さとみ(編集)	医学書院	2012・4,935円
		地域リハビリテーションマニュアル 第2版	伊藤利之(編集)、白野明(編集)、田中理(編集) 他	三輪書店	2008・4,410円
		生活環境論-生活支援の視点と方法-第6版	木村哲彦(監修)、安梅勲江、岩崎洋 他	医歯薬出版株式会社	2010・6,800円+税
		OT・PTのための住環境整備論 第2版	野村歡、橋本美芽	三輪書店	2012・4,200円+税
【評価方法】 出席状況, 授業態度, 小テスト, 定期試験を総合的に評価する。		【履修上の留意点】			